

こうさい

天理教滋賀教区江西支部広報

編集・発行

天理教滋賀教区江西支部

(天理教栗太分教会内)

草津市追分七丁目3-7

TEL 090-7363-5580

1月号

新年ご挨拶

江西支部長

林 暹

支部管内の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで、寿ぎの年をお迎えることと存じます。改めてまして新年明けましておめでとうございます。

昨年度は年始早々に、予想だにしない能登沖に巨大地震が発生し、能登地方に壊滅的な被害が発生し、地理的に阻害されて支援がスムーズに行き届かず、現地の人々が極度の災難に遭遇されるという、とんでもない事態に飲み込まれました。一、二週間経た頃より実態がはっきりとし、災救援隊も現地に入り、本格的な支援体制が行政、国中の一般の支援が動き出したの

でした。その間の被災者のご苦労は想像だに付かないもので有ります。更には同地域が9月、集中豪雨に見舞われ、激甚災害に至りました。長期にわたる支援が今後とも必要であります。

つきましては、今年3月に支部役員1期3年の交代時期が参りますが、支部の現状を勘案致し、私、林が齢80を間近に控えるも結構に身体をお与え下さっていますので、年祭期間中であることも踏まえ、届きませんがもう1期3年を務めさせて頂く所存の程を役員会で申し上げますと、有難いことに、各先生方も留任を申し出て下さり、これまでと同様の体制で歩ませて頂くに至りました。

今年には年祭三年千日の最終年を迎えますので、各々の心定め完遂はもとより、4月の「全教一斉ひのきしんデー」に始まり、「全教一斉にをいがデー」更には「ようぼく一斉活動日」など、各行事が目白押しに開催される年でもあります。それぞれの行事に動員を求められますので、各行事の動員増に向けてお力を頂戴致し、年明けに迎える教祖百四十年祭に胸を張って参拝させて頂けるようにお努め下さることを願ってやみません。どうぞこの一年お力を振り絞って親神様・教祖にお喜び頂けるようお努め下さることをお願い申げ、本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



守山組定例ひのきしん
 於守山市民運動公園
 12月6日、午前9時～11時
 半迄除草ひのきしん。
 大人8名。



第二回みちのだい育み塾
 令和6年12月5日、栗太
 分教会に於いて10時から
 昼過ぎまで16名の参加者
 と共に開催。ねりあい・
 体験談など心温まるお話
 を聞き有意義な時間を過
 ごした。



1 2025

びわ湖草津 献血ルーム

BLOOD DONATION ROOM BIWAKO KUSATSU



年始受付時間について
 1/2、1/3
 400mL献血受付時間
 10:00~12:00
 13:15~15:00
 ※成分献血は完全予約制です。

年始 福袋
 1/2~1/5
 400mL献血・成分献血
 限定
 福袋プレゼント!!

水曜日限定 予約献血デー
 水曜日に予約して
 献血していただくと
 記念品を進呈!



びわ湖草津献血ルーム1月は瀬田・栗東組から各2名以上宜しくお願いします。

採血日		採血場所	受付時間	
1/11	(土)	イオンモール草津 400ml 限定	10:00~11:30	13:00~16:00
1/12	(日)	イオンモール草津 400ml 限定	10:00~11:30	13:00~16:00
1/19	(日)	イオンモール草津 400ml 限定	10:00~11:30	13:00~16:00
1/22	(土)	滋賀県トラック協会 400ml 限定	09:30~11:30	
1/22	(土)	滋賀県運転免許センター400ml 限定	09:15~12:00	13:30~15:00
1/30	(木)	イオンモール草津 400ml 限定	10:00~11:30	13:00~16:00

親神様のお働き

栗東組々長

山口陽一郎

親神様は私達人間に知恵を与えて頂き、又身体には微妙な働きを下さいます。

試して頂ければ良いと思います。まずゴルフボールなど硬い物を脇に挟むとその半身のみ汗が出ないという不思議な事が起こります。身体構造これらも皆自分で出来るもので無く、親神様のしていただく業ではないでしょうか？

ずいぶん前だと思えますが、テレビを視聴していたら向日葵の事を放送されていきました。ひまわりは字のごとく日を向いて咲くのではなく、咲けば東の方角を向いているだ

けで、つぼみが出来るまでは昼間は東から西に太陽に向かって動き、夜の間に東に向かうそうです。これは、向日葵自身成長するため栄養を蓄えなければならぬので、その様な動きをするようです。

此のように何をとっても親神様のお働きです放送では不思議な働きと放映していました。私達が生活するためには全て親神様のお働きがなければならぬと思えます。

私事ですが、約30年程前に日参をしていて、ある日突然足が痛くなり正座が出来なくなりました。足を伸ばしてお勤めをしていると、上級の二代前会長さんに「心を運んで無いからや」ときつ

いお言葉を頂き、その時はきついなあと思っていました。教会に帰ってからは、親心あふれるお仕込みだと思えました。身体を運ぶだけではなく心を運んで無いからだったのです。思い直してから二、三日すれば足の痛いのもすっかり直りました。その時に思ったのは、私達の信仰は心に乗って親神様が働いて下さるのだと思えました。親神様の御守護により先輩先生方は通ってこられたと思えます。その当時天理教を締め付ける中、自分が助けて頂いたのを人様にお話しさせて頂き助かって頂くのを見て共に喜んで通ってこられたのだと思えます。今この時も一度お互い



お詫びと訂正
令和6年12月号の右記巻頭言は、最後4行が抜けていました。お詫び申し上げ訂正をさせていただきます。

に原点にもどり親の通ってこられた日を見つめ直すようではないでしょうか